

令和3年度 第2回生駒市スポーツ推進審議会
会議録（要旨）

日時 令和4年3月10日（木）午前10時00分から
場所 コミュニティセンター4階 404会議室

◎ 出席委員（敬称略）

池田誠也、浦井善宏、下宇宿勲、竹内幸子、塚原 愛、中井一郎、西森禮子、松尾正則、連 靖和
（事務局）生涯学習部長、スポーツ振興課長、スポーツ振興課係長

内 容

1. 案件

- （1）（仮称）第2次生駒市スポーツ推進計画の策定等について
- （2）令和4年度第2次生駒市教育大綱アクションプラン(案)について
- （3）生駒市体育施設条例の改正について
- （4）令和4年度主要事業等について

3. その他

・各種コロナ対応について 他

各案件

<事務局>

議事については、スポーツ推進審議会条例第7条第1項の規定により「会長が議長となる」ことになっておりますので、会長に議事進行をお願いします。

- （1）（仮称）第2次生駒市スポーツ推進計画の策定等について

<会長>

それでは、案件（1）「（仮称）第2次生駒市スポーツ推進計画の策定等について」事務局から説明を。

<事務局>

「（仮称）第2次生駒市スポーツ推進計画の策定等について」を説明

<会長>

（仮称）第2次生駒市スポーツ推進計画の策定等についてについて、事務局から説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

[質問なし]

- （2）令和4年度第2次生駒市教育大綱アクションプラン(案)について

<会長>

続いて、案件（2）「令和4年度第2次生駒市教育大綱アクションプラン(案)について」事務局から説明を。

<事務局>

「令和4年度第2次生駒市教育大綱アクションプラン(案)」を説明

<会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

南地区で例年大運動会をしていたが、この2年コロナの影響で実施できていない。それが原因とは言わないが、子どもたちの体力の低下を感じる事もある。地元の人たちからも「次は開催しますよね。」と言われることもあり、皆さん楽しみにされていると感じる。身体を動かす機会を皆さんが望んでおられているので、行政の方でも是非機会づくりをお願いしたい。

<事務局>

コロナ禍においても感染対策を入念にした上で身体を動かせる機会を作っていきたいと思います。

<委員>

設立を検討している総合型地域スポーツクラブについて教えてください。

<事務局>

現在設立を検討されているのは、主に俵口小学校区で活動されている団体で、サッカーを中心にされていますが、総合型地域スポーツクラブとしての活動を検討されています。

<会長>

他に何か質問はありますか。

<委員>

[質問なし]

(3) 生駒市体育施設条例の改正について

<会長>

続いて、案件(3)「生駒市体育施設条例の改正について」事務局から説明を。

<事務局>

「生駒市体育施設条例の改正について」を説明

<会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

プールの利用について、小学2年生までは身長が低いなどのこともあり1人で利用できることは、全国の施設を確認してもあまり見られない。小学3年生以上は1人で利用することは、身長のことから考えて妥当であると思います。

<会長>

他に何かご質問等ありませんか？

<委員>

[質問なし]

(4) 令和4年度主要事業等について

<会長>

続いて、案件(4)「令和4年度主要事業等について」事務局から説明を。

<事務局>

令和4年度主要事業等について説明

<会長>

ただいま事務局より説明がありましたが、何かご意見、ご質問は。

<委員>

[質問なし]

その他

<会長>

続いて、その他について、事務局から説明を。

<事務局>

その他につきまして、4点あります。

1点目「各種コロナ対応について」を説明

2点目「ファシリティマネジメントについて」を説明

3点目「学校部活動の地域移行について」を説明

4点目「行政組織の改編について」を説明

<会長>

何か質問等がありますか。

<委員>

学校部活動の地域移行について、市の方から実施主体団体を通じて、生駒北中学校には吹奏楽部、生駒南中学校には軟式野球部、生駒中学校には卓球部に、それぞれ外部指導者に入ってもらっているが、最近突然外部指導者の保険について、来年度からは受益者負担してもらいたいと連絡があった。この件について、市教育委員会から連絡があり、現時点では、部員の保護者に対しても何も伝えられていない状態で、各校長が困惑している。対象となっているクラブの保護者だけが負担しなければならないというのは、他の生徒と比べると違和感があると感じている。この費用について何とかならないものか？とも考えている。また、現場には何も伝えていないが、令和5年度から休日に関しては部活動は基本的に地域部活動に移行となると聞いている。令和5年度から本当にそんなことが実現するのだろうか。という疑問が学校現場としての正直な感覚です。教員の働き方改革の一環で、学校教育と休日の部活動を切り離すというのが国の考えと認識しているが、現場では今はそこまでは考えられない。今後どうなっていくのか詳しく教えてもらいたい。

<事務局>

外部指導者の保険の受益者負担については、その方向で進められているという話は聞いていましたが、現場にも伝わっているという認識がありませんでした。

学校部活動の地域移行については、スポーツ庁からの委託事業で国から奈良県がまず受託しています。その事業を市町村で再度受託しています。奈良県の中では生駒市と明日香村の2つの自治体がモデル事業として受けている状況です。それを再再委託という形で生駒市では、生駒市スポーツ協会とリトルパイン総合型地域スポーツクラブに地域部活動をお願いしています。

南中学校と、生駒中学校の休日の地域部活動に係る外部指導者は、生駒市スポーツ協会から派遣していただいております。北中学校はリトルパインから派遣していただいております。今問題になっているのは、平日の保険料と休日の保険料が別々になるという事です。同じ部員、同じ指導者が同じ内容を実施するのですが、実施主体が学校と地域と別々になるためこのような形になってしまいます。

平日の部活動はスポーツ振興センターの保険で対応しますが、休日分はスポーツ安全保険等での対応となります。この休日の指導者分について、保護者の負担となるのかと思う。令和5年度からは段階的に全てのクラブの休日の活動は地域に移行すると言われている。

現在、国の方でも議論がされている状態であり、まだ見えていない部分もあります。

<委員>

現在、卓球部の外部指導者の派遣を平日も休日も行っている。平成21年度からずっと行っており、これを今後は平日と休日とはっきり分けて活動するということになると聞いている。

<事務局>

今のところ、令和5年度から段階的な地域移行は既定路線となっていますが、詳細については現在議論されている状況で、はっきりとした内容は伝わってきていません。

<委員>

少し前の話だが、中学校バスケットボールの部活動で土日は地域に任せていて、平日は5時まで学校で、それ以降は小学生も参加できる形で地域で活動されているところがあった。地域の理解があって実現していると思う。学校が進めている平日は学校、休日は地域という流れは実現すればよい話だと思うが、課題が多いと感じている。一番の課題は指導者だと思う。学校部活動の延長になるため、休日と平日の繋がりが難しい。休日でも学校の先生が地域で指導してもよいが、その負担は大きい。

学校部活動、地域部活動、それぞれのメリットとデメリットを検討して進めて欲しいと思う。将来的には受益者負担という考えも当然だと思う。

<事務局>

学校の先生の兼業兼職は制度的にあるのですが、現在の状況では現実的には使いにくいようです。兼業兼職の取り扱いについても、スポーツ庁の検討会議で議論が上がっており、先生方も地域の貴重な人材として活躍できる制度を作っていこうと進めておられるところです。学習指導要領の方にも部活動のことも盛り込まれていますので、その兼ね合いも国が考えていかなければならないことかと思います。

<委員>

コロナ禍で子どもたちの体力低下という話もあったが、部活をせずに授業が終わったら家に帰るだけという生活が続いていて、見ていてかわいそうになる。校長会でも話題になることがあり、ようやく今日から部活動を再開することができるようになった。平日は1.5時間、土日は2時間という制約があるが、子どもたちは嬉しそうにしている。

<委員>

サッカーや野球に親しむ子どもたちは多いが、全員がトップアスリートとして活躍できるわけではない。もちろん最初はアスリートを目指している子どももいると思うが、現実はそのような場合もあるし、トップを目指していない子どもたちもたくさんいると思う。

<事務局>

そういう意味でも、単一種目の活動ではない、総合型地域スポーツクラブの役割が今後かなり大切になってくるのではないかと感じている。スポーツに触れあう機会を作ることが大切だと思う。

<委員>

地域ごとに得意分野もあると思う。地域ごとに柔軟に対応することも必要かと思う。

<事務局>

生駒市独自の何かを、子どもたちの為にできればと思っています。

<会長>

国の考えもあると思うが、実際現場の声として、生駒市としてはこう進めていくという姿勢を見せて欲しい。総合型地域スポーツクラブのことについても同じで、国は現場の声をもっと聞いて進めてもらいたい。

事務局の皆様は大変な時期ですが、頑張ってくださいと思う。

全体を通して、他に何かご意見、ご質問等がありますか。

<委員>

トップアスリート事業について、令和4年度の計画はどうなっていますか？

<事務局>

今年度、オリパラに関連した事業を実施したかったが、コロナ禍で叶わなかった。生駒市は障がい者スポーツにも力を入れているので、パラリンピアンとの協働事業ができればと考えている。特に、来年度は企業版ふるさと納税を活用してスポーツ用車いすを購入することができるので、それらを活用した車いすバスケットボール体験会などを実施できればと考えている。

<委員>

もしバスケットボールをするとすれば10台必要となると思う。もし必要なら貸し出せるので活用しても

らいたい。

<委員>

コロナ禍でできなくなっていたエイジレスエクササイズ（対象65-74歳）が、高齢者の感染者が少なくなってきているという事で再開できるようになり、参加者の皆様が喜んでくださっている。身体を動かすことや、直接会って挨拶できることが嬉しい。気が晴れたと言って頂けることもある。今後も感染症対策を入念にして実施していきたい。

<委員>

保育園のイベントも縮小や中止ばかり、運動会も学年ごとですぐに終わって子どもたちも残念がっている。保護者の集まりもほとんどなくなっている。お弁当も一人で食べて、友達と話をしてはダメと言われているので、家でご飯を食べるときにも子どもから「お話したらダメだよ」と言われる。子どもたちにかかっているストレスが気になる。早く以前のような日常に戻って欲しい。

この場にいる皆様が生駒市のスポーツの為に熱心な議論をされて、予算についてや環境作りにご尽力頂いているという事をひしひしと感じる。私自身、何か出来ることがあれば地域の市民の一人として力になりたいと思う。

<委員>

今年から審議会に参加しているが、総合型地域スポーツクラブが市内に3つあるという事を初めて知った。

<委員>

コロナ禍で子どもたちが身体を動かす機会が少なくなっていて、子どもたちは数少ない身体を動かす機会を楽しみにしている。子どもたちは気兼ねなく外で遊びたい、交流したいという強い気持ちを持っている。その気持ちをスポーツ活動に結び付け、好きなスポーツを見つけて体を動かす楽しみを見出してほしい。これからも、子どもたちにスポーツの機会づくりをしていきたいと思う。

<委員>

知育、体育、徳育の3つそれぞれ大切で平等であるべきだと思う。

南中学校と北中学校が練習試合をしている。もっと近い大瀬中学校と南中学校で試合した方が良いのではないかとと思うが、指導する先生が少ないのが原因だろう。人員の確保も大切だと思う。

南地区の運動会について、みんな楽しみにしているので今年はなんとか開催したいと思っている。

<委員>

総合型地域スポーツクラブの認知度が低い。総合型って何？何しているの？とよく聞かれる。

まず来ていただくという事が大切だと思う。来て、見て、やってみて頂ければ楽しいと感じてもらえる。

<副会長>

生駒市のスポーツ予算の額が大きいのに驚いた。他の自治体では10万や20万の予算を取るのにも苦労している。

コロナ禍での東京2020オリンピックや北京での冬季オリンピックが開催されたが、素直に見られなかったのが残念です。

<会長>

委員の皆様、たくさんのご意見等ありがとうございました。

これで令和3年度第2回生駒市スポーツ推進審議会を終了します。